

企業から広がる絆「ユニオン」

ユニオンテック株式会社
代表取締役社長 渡邊 松雄氏

戦後にカーラジオやカークーラーなどからスタートし、現在では建築総合設備業で業績を伸ばし続けているユニオンテック株式会社。100%自社メンテナンスにこだわり、徹底したお客様第一主義を貫き、最新の設備や機器を最良の技術と思いやりを持って提供しています。

激動の時代を読む

初代社長・安部源平により、昭和23年ユニオン電気商会という名で創業しました。「ユニオン」という名は、一致団結するという意味で名づけられました。創業当時はカーラジオやカークーラーを中心に業績を上げ、高度経済成長期に入るとビル建設ラッシュの需要を

見越し空調設備事業をスタートさせました。私は昭和42年、ユニオン電気株式会社の空調課に入社しました。当時は、自動車音響設備の修理が多く、空調設備事業はスタートしたばかりでした。そのため、営業も併せてこなすために話し方も勉強しました。この「営業」こそが私の人生の転機であったと思っています。その頃から水冷式ヒートポンプのエアコンなど空調設備の受注が増え、空調課としての業績も上がり始めました。

信頼あるパートナーとして

空調設備は設置すれば終わりではありません。家やビルと同じように何年も私たちの住環境とともにあり、劣化もします。それらを

地域社会と社員の絆「ユニオン」

とにより、当社で取り扱っているすべての商品への対応を可能にしています。また、総務を含めたすべての部署で商品知識を深めるための勉強会を開き、速やかにアフターケアができるよう万全の体制も整えています。そのようなアフターケアの中からお客様と太い絆を築き、新たな商談が生まれ、10年連続で空気清浄機年間販売台数1000台を達成することもできました。自分だけが満足すればいいのではなく、相手が法人でも個人でもお互いに良きパートナーとなることこそ企業が成長する要因であると思います。



▲地域貢献の証の数々



会社はお客様との絆だけではなく、その地域で会社を運営し、社員を育てていく以上、地域社会とも絆を築かなければなりません。その観点から当社では地域貢献にも力を入れています。毎朝、会社近くの国道21号線の道路及び歩道の清掃活動を行っています。この清掃活動は私を始め全社員が参加しています。その他にも全社員に応急手当の講習会へ参加させたり、消防団に所属している社員には団員としての活動を配慮することで、消防協力事業所としても認定されています。それ以外にも、地域の学校でCAD講習を開催したり、私自身も講演に出向くなど、交流を積極的に進めています。また、これらの活動を通して私は社員の心理状態を知ることできます。地域の人々とふれあう様子から「どんな気持ちで取り組もうとしているのか?」「体調はどうか?」などを知ることができ、一緒に行動することで距離を縮めることもできます。



▲営業の在り方を語る渡邊社長

商品として扱っている以上、アフターケアという問題は避けては通れません。そこで当社では設置した商品は100%自社でメンテナンスできる体制を整えています。電気工事の技師や空調工事の技師、さらには実際に現地を知る営業の人間が協力、連携して作業すること



▲本社ビル

Company Data

ユニオンテック株式会社

本社 ● 岐阜市中鶉 1-30-1
電話 ● 058-274-5361
事業内容 ● 空調・給排水衛生設備工事、昇降機設備工事、音響設備業
創業 ● 昭和23年
HP ● <http://www.uniontec.jp/>